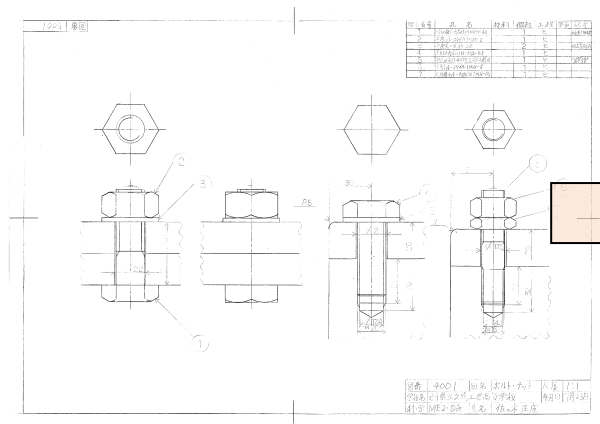


『 電子機械科は現代の『ものづくり』に対応するため
機械・電気・情報について学ぶ学科です 』

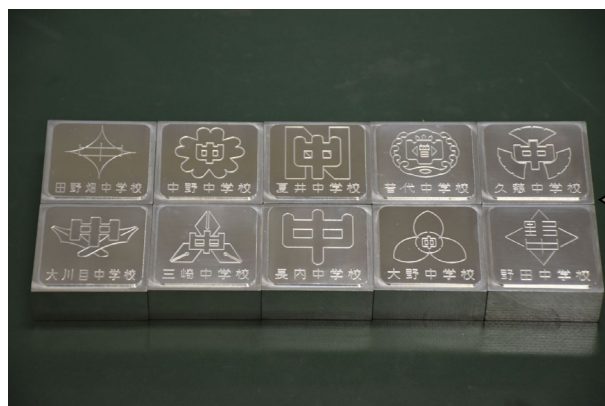
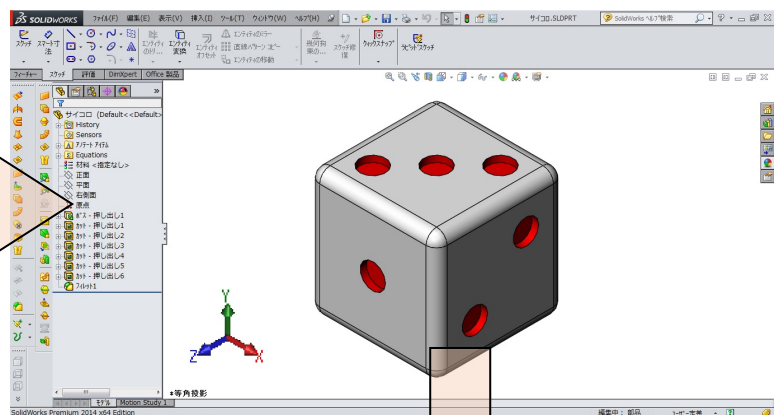
電子機械科では「機械」と「電気」に関する仕事に就くための専門教科を勉強します。これから先、予測困難な時代になり、便利なものを改良する時代は終わりになり、新たにものを作り上げる能力が必要になります。本学科では、昔からの基礎基本を学びながら、新たなものづくりを支える人材を育成することを目標にし、柔軟で実行力のある生徒を育てます。

1. 電子機械科の特色ある授業

手書きによる製図 (1.2年)



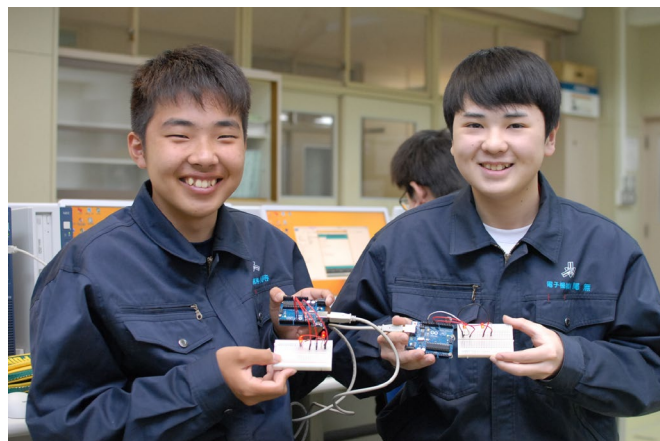
3D-CAD (3年生)



完成品



NC機械での切削



制御実習 (2年生)



- その他にも・・・
- ・機械加工実習 (旋盤・フライス盤)
 - ・溶接
 - ・シーケンス制御

2. 実践技術者の育成

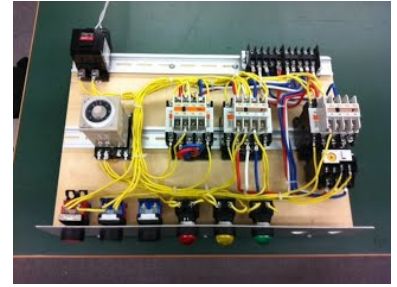
- ・技能士・・・機械加工（旋盤・フライス盤） 機械保全 シーケンス制御
（工業高校卒業では実務経験なしでも2級からの受験資格が認められる。普通科は実務経験2年）
- ・第2種電気工事士・・・家庭内の配線ができる資格。学科・実技試験。
- ・高校生技能競技大会への参加



旋盤作業



溶接技術競技会

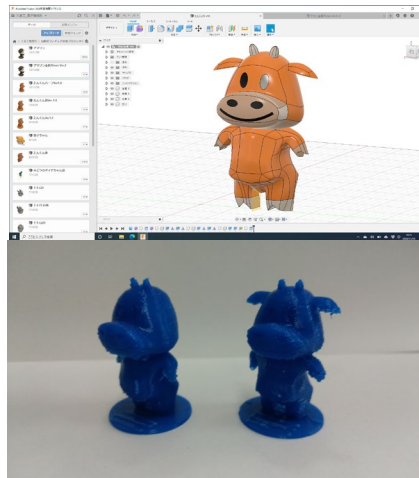


シーケンス制御

3. 魅力ある学科づくりの取り組み



久慈市へフェイスシールドの贈呈



久慈市キャラクターの製作



中学校への発信

4. 電子機械科の将来性

・AI・IoTに対応できる

人材育成

これから先、人手不足が深刻になると言われています。今後、人工知能や情報通信を利用したものづくりが必要となります。将来、必要となる基礎知識を身に着ける指導を行います。

・ものづくりだけでなく、制御

まで手掛けられる人材育成

これからの機械は必ずと言っていいほどコンピュータが組み込まれています。機械を修繕するためには機械の知識だけでなく制御や電気の知識も必要となります。その基礎的な技術を習得できるよう指導します。

・発想力から形へ、想像力と

実践力を備えた人材育成

多様化されるものづくりには形のないものを想像し、それを形に変えることが必要となります。将来を見据えた想像力から形にできる技術力を持った行動力を持った生徒を育てます。

5. Society 5.0 を目指す学科



情報が溢れている Society 4.0 の課題に対し、IoT や AI などの最新テクノロジーを活用した便利な社会が「Society 5.0」という訳。Society 5.0 で実現する社会 / IoT で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、様々な社会課題や困難を克服します。